広大なフランス語商圏へ 一貫したビジネスを切り開いていく。

株式会社 シュークルキューブジャポン

代表取締役社長

佐藤（さとう）　弘一（こういち）

Profile

1972年神奈川県生まれ。高校卒業後就職。役者への夢を追いバックパッカーで半年欧州を旅する。NTT Europe Parisに入社し日系企業のITサポートに従事。2008年パリで起業し軌道に乗せ、2018年、大学卒業後グロービス経営大学院で学び、対日投資仏企業として、日本に現地法人を設立、現在に至る。

フランスで起業、満を持して日本法人設立

弊社は、2008年よりフランスパリにて、フランス語圏での国際ICT事業、国際ビシネスにおけるコンサルティングを行ってまいりました。

私自身のNTT Europeの職歴を重ねますと、20年以上フランスでビジネスを行っております。これまでは、国際ICT事業と並行して、フランスでビジネスを行いたい企業様へのアドバイスのみの形でお手伝いしておりましたが、この度日本法人を立ち上げ、自らビジネスを構築するとともに、お客様に対しても、背中を押すだけではなく、現地法人の日本人スタッフと連携し、現地で寄り添える形でもっと積極的に日本企業の海外ビジネスをサポートしていく所存です。

海外進出を阻む要因は?

日本企業のフランス進出のお客様の悩みとして、距離や時差、英語が通じにくいなどの言葉の問題からフランスでのビジネスチャンスをモノにできていないと、在仏日本商工会議所の理事を務めていた際によく耳にした言葉です。

また、日本企業の出先機関となる現地事務所に派遣された駐在員の方には、通常のビジネス領域外の多くのことを任せっきりになっていることが多いのではないでしょうか?また、その駐在員の方も長期派遣ではなく3、4年程度の短いスパンで帰国してしまい、せっかく培った経験も築いた信頼も後任者に十分な引き継ぎができていないケースが散見されます。

また、社内や社外での意思疎通の問題では、言語の問題のみで意思疎通が滞るのではなく、文化のギャップを知り、郷に入れば郷に従えが大切です。我々はその間を埋める存在であり、渡航前に日本で十分その環境や条件を知ることで安心して海外進出を進めていただく、その使命を持っていると自負しております。

海外戦略にフランスを加えませんか?

私どもの強みは、フランス長期滞在経験を持つフランス文化に精通した日本人による組織である点です。

フランス特有の文化や慣習などを熟知しているので、日本にいると見えにくいフランスでのシーズの発見、テストマーケティング、現地視察、現地法人代行など、最適なソリューションをご提案できます。

ICT事業では、新設・既設に問わず、多言語によるIT機器の導入保守、セキュリティ対策、WEB開発など20年に渡る経験でお役に立てることが多々あります。現地駐在員の方も余計なことに力を削がれること無く、本業のビジネスに注力することができることでしょう。

これらの事を日本国内にて弊社を窓口として一本化していただけます。時差の煩わしさや言語も英語を経由することなく、直接日本語でご対応いただけることがお客様より大変喜ばれております。

フランス進出で気をつけていただきたいこと

円滑なビジネスにおいては文化や商習慣などへの理解も重要ではありますが、最も気をつけていただきたいのは法律の違いです。一例としてお伝えしたいのが、平成30年より施行されたヨーロッパ版個人情報保護法のGDPRについてです。注意点はいくつもありますが、罰則金が厳しい点。企業の全世界年間売上高の4%以下、もしくは2000万ユーロ（120円換算で約24億円）のいずれか高い方が現地法人ではなく「日本本社」に適用されます。米グーグルが違反金62億円の支払いが命じられ大きな話題となりましたが、施行後1年ほどの期間で10万件を超える違反指摘があったと報じられています。

西アフリカにも現地法人設立

日本法人を立ち上げた理由の一つに日本からアフリカへの進出があり、目下、西アフリカ、セネガルに現地法人設立中です。西アフリカの多くはフランス植民地時代のなごりで、現地の公用語はフランス語。フランスのサッカーチームにみられるように、多くのアフリカ人の移民がフランス国籍を取得し、フランスで生活しています。フランスと仏語圏西アフリカは、共通言語であるゆえ、どこか共通意識がある事と、非常に親日であり信頼も厚いことから、現地に沿ったサービスを展開できるのであればチャンスはとても大きいです。兎に角、海外ビジネスでは即断即決のスピード感が求められています。魅力的なフランス、そして最後のフロンティアと言われるアフリカで、フランスで培ったパートナーシップを活かしフランスからアフリカ市場まで一貫したビジネスを展開していきたいと、フランス・日本・セネガルチームと連携し日夜努力しておりおます。

フランス語圏でお困りのことがありましたら、ぜひご相談ください。

セネガル保健省とMOU締結し、保健健康活動省、Mr MBENGUE事務次官と固い握手

企業名：株式会社シュークルキューブジャポン
TSR 企業コード：02-796179-6
事業内容：フランス語圏ビジネスおよび海外進出支援
設立：2018 年 4 月
住所：〒 102-0084
東京都千代田区二番町 1-2 番町ハイム 624
TEL：050-3708-1414
WEB：https://www.sucrecube.co.jp/

TSRの眼　フランスに本社を構えるICTグローバル企業